

富津市長 高 橋 恭 市 様

富津市議会議長 平 野 明 彦

議会報告会 2019 における市民からの意見等について

市議会では、昨年12月13日、17日及び19日の3日間、市内3か所で開催しました議会報告会2019の第2部「台風被害から見えてきたこと・感じたこと」において、別紙のとおり市民から様々な意見をいただきましたので、参考までに情報提供いたします。

これらの意見には、既に対応済のことが含まれていることから、市の施策の一層の周知と市民の防災意識を高める必要性を感じたところです。

市議会としましては、今回の台風被害の中での市議会の行動の検証や議会報告会における市民からの意見等を踏まえ、次の3項目について検討しておりますが、これらは市議会だけでは実現できず、また、より良い運営のためには、今後の協議が必要と考えておりますので、よろしく願いいたします。

また、参加者アンケートにも市民の意見がありますので、参考までに送付します。

記

- 1 大規模災害時における富津市議会の活動及び富津市議会議員の行動の指針の策定
- 2 市議会と行政の情報共有のために、市災害対策本部へ議員を派遣すること。
- 3 議員が、区長、自主防災組織のリーダーと行政との連絡役を担うこと。

(市民からの意見・要望事項)

- 災害時の対策マニュアルの作成・配布及び避難訓練の実施について
 - ・住民への災害時の対策等マニュアルの作成、配布及び訓練等の実施（参加）
 - ・行政組織としての災害時のマニュアル作成と対策訓練・シミュレーションの徹底
 - ・19. 6月の県、市合同の土砂災害想定避難訓練は、有効であった。市民に訓練の意義と参加の促進を。

- 情報の伝達について
 - ・ライフライン（電気、水道）の情報が伝わっていない。
 - ・防災行政無線が聞き取れない。
 - ・区長として区内の被災状況を把握できなかった。行政との連携方法が課題。
 - ・停電の状況が正確に伝わっていないことと、復旧の情報が伝わっていない。
 - ・区長が被災状況を伝えるシステムになっていない。報告書のフォーマットを作成すべき。

- 避難所について
 - ・避難所はしっかりと整備してほしい。（雨漏れ対応、高齢者が無理なく休める環境）
 - 例：仮設の畳等 十分なスペースの確保 ある程度の毛布食料の提供
 - ・現状の指定場所のほかに民間施設などに避難できるよう検討が必要。
 - ・トイレのバリアフリー化を進めるべき。

- 災害支援について
 - ・携帯電話の充電については、充電場所を増やすことと、コンセントの増設をお願いしたい。
 - ・停電による断水が長引いた。ポンプアップの電源の確保を。
 - ・避難所の備品として発電機が必要なので、今後の対応を検討すべき。
 - ・備品（ブルーシート）の配布については、防災無線で配布の確認をし、配布場所に行ったが在庫が無く支給を受けられないことがあった。区の大小はあるが、区単位での配布を検討すべき。
 - ・災害ごみの運搬については、運搬できない市民（軽トラックなし、高齢者等）のことを考えて、市が収集する等の検討が必要。運搬車両のリース等を検討すべき。

- ・災害ごみの集積に工夫が必要。混雑を緩和させる方策を検討すべき。

○ 市の体制について

- ・防災安全課の組織拡大（４人では少なすぎる）と、防災関連以外部署の職員も最低限の対策等準備と対応訓練
- ・各地域での被害状況を行政に連絡した時に、市道、林道、倒木等の担当が違うところから、再度担当部局への連絡を要請された。災害発生時には、災害状況の受付を一本化すべき。